

家畜衛生だより

From 中央家保 養豚用

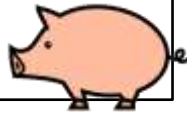
中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel:043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax:043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

10月3日は「一斉消毒の日」です

平成28年10月 日

農場名:

住所:



一斉消毒の日チェック表

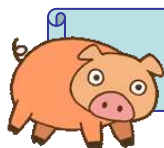
チェック	番号	項目	内容
<input type="checkbox"/>	1	出入車両 消毒確認	飼料運搬・動物薬販売・診療獣医師などの出入り車両の消毒を確認します。
<input type="checkbox"/>	2	立入者 衣服交換	畜舎等衛生管理区域に立ち入る獣医師・袋飼料配送業者などの専用衣服への着替えを確認します。
<input type="checkbox"/>	3	消石灰散布	農場入口に石灰帯(全体的に白くなるよう散布)を作ります。
<input type="checkbox"/>	4	踏込み消毒槽 点検	畜舎・事務所入口の踏込み消毒槽を点検し、消毒薬を確認します。
<input type="checkbox"/>	5	畜舎消毒	空の豚房、通路などを清掃し、動力噴霧器で洗浄・消毒します。
<input type="checkbox"/>	6	整理・整頓	畜舎周囲の不要品の片付け、除草を行います。
<input type="checkbox"/>	7	チェック表送付	このチェック表を家畜保健衛生所に送付します。

豚流行性下痢(PED) 対策の再確認を！

平成25年の秋以降大流行したPEDは、農場内の飼養衛生管理や畜産関係施設における対策の徹底が図られ、年々発生件数が減少しています。しかし、未だ散発的に発生が報告されており、過去3年間の発生では、気温の低下する10月以降に本病の発生が増加しています。今一度、下記事項に留意し、防疫対策の再徹底をお願いします。

- 飼養衛生管理の徹底・・・農場への侵入防止対策の徹底
- ワクチン接種の徹底
- 早期通報の徹底

お問い合わせ・送付先は 千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090



日本脳炎にご注意ください！

<日本脳炎とは・・・>

免疫を持たない繁殖豚が感染した場合、白子、黒子、ミイラ等の流死産を起こしたり、生後間もない子豚のふるえ等、神経症状を示して死亡します(肥育豚は無症状)。コガタアカイエカにより媒介され、蚊の活動が活発になる夏～秋にかけて発生が増加します。

千葉県衛生研究所による千葉県の豚の日本脳炎抗体保有状況調査で、昨年、過去7年間で最も高い陽性率となり、今年度の調査でも、8月下旬に抗体の50%陽転を確認しています。

※50%陽転：と畜場における日本脳炎の検査で、抗体陽性頭数が検査頭数の50%を超えること

また、千葉県で過去に高い陽性率となったH20年には、県内で豚の日本脳炎の発生が報告されています。

確実なワクチン接種とウイルスを媒介するコガタアカイエカの防除対策により、日本脳炎の発生を予防しましょう。

蚊の発生防止対策→水が溜まるような不要物の除去
豚舎周りの草刈りの実施 など



台風・豪雨後の家畜衛生対策について

台風やゲリラ豪雨により大量の雨水が畜舎に侵入し、飼養衛生環境が悪化すると、疾病発生リスクが高まります。日頃から飼養衛生管理基準を遵守すると共に、台風・豪雨後は、下記の点について確認しましょう。

- 畜舎内に雨水の流入、浸水等あった場合は、高温多湿を防ぐため、直ちに排水・清掃・換気を行い、石灰等を用いて消毒を行いましょ。
- 畜舎、防鳥ネット等に破損がないか確認しましょ。
- 病原体を媒介する吸血昆虫、寄生虫等の駆除を行いましょ。
- 日頃から飼養家畜の健康観察を行い、異常家畜の早期発見に努めましょ。



☆家畜の異常を発見した際は、家畜保健衛生所に早期通報を！

千葉県中央家畜保健衛生所

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090